



2014年度 明治学院

クリスマスツリー
点灯式

2014年11月21日(金)

16:30~17:00

明治学院 白金校舎

記念館前芝生広場

プログラム

前奏 「主よ、人の望みの喜びを」

聖書のことば 石川 理(明治学院高等学校長)

小諸市立坂の上小学校合唱 「HEIWAの鐘」

港区立三光小学校合唱 「ジングルベル」

明治学院高等学校合唱 「さやかに星はきらめき」

クリスマスメッセージ 鵜殿博喜(明治学院大学長)

ツリー点灯 代表4名
(大学生1名、高校生1名、小学生2名)

間奏 ツリーをお楽しみください

3団体合同 合唱 「もろびとこぞりて」

参加者全員 斉唱 「もみの木」

司 会:吉村 美咲(明治学院大学法学部政治学科3年)

奏 楽:長谷川美保(明治学院音楽主任者・オルガニスト)

音響・照明:明治学院大学 舞台技術研究会

せいしょ

聖書のことば

はじ ことば ことば かみ とも ことば かみ ことば はじ かみ とも
「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあつた。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言のうちに命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光をりかい理解しなかった。」 (新約聖書 ヨハネによる福音書 1章1～5節)

O Christmas Tree

もみの木

ドイツ民謡
中山知子訳詞

Moderato

f F Gm C7 F

もみのきもみのきいつもみどりよも

The first system of the score is in 3/4 time. It begins with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat). The tempo is marked 'Moderato' and the dynamic is 'f'. The melody is written in the treble clef, and the bass line is in the bass clef. The lyrics are written below the treble clef. The system ends with a double bar line.

F Gm C7 F *mf*

みのきもみのきいつもみどりよか

The second system continues the melody and bass line. The dynamic changes to 'mf'. The system ends with a double bar line.

F C7 C7 F *f*

がやくなつのひゆきふるふゆのひも

The third system continues the melody and bass line. The dynamic is 'f'. The system ends with a double bar line.

F Cm D Gm C7 1.F 2.F

みのきもみのきいつもみどりよ

The fourth system continues the melody and bass line. It includes first and second endings, labeled '1.F' and '2.F'. The system ends with a double bar line.

出 演

長野県小諸市立坂の上小学校 6年生

指導：堀籠 浩美教諭

港区立三光小学校合唱団

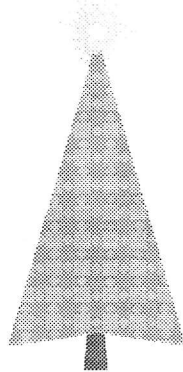
指導：清水 達也教諭

明治学院高等学校ハイグリ一部

指導：岡田 章教諭

—SPECIAL THANKS—

大学保証人会より
ご協力をいただきました。
心より感謝を申し上げます。



※明治学院のクリスマスツリーは、LEDランプを使用して、環境への負担軽減に努めています。